

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0174100990), 法人名 ((株)ピッチ&パッチ), 事業所名 (グループホームよいしよ春探-1), 所在地 (釧路市春探1丁目14番6号), 自己評価作成日 (平成29年11月6日), 評価結果市町村受理日 (平成29年12月28日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

眼下に春探湖を望み、四季折々の自然を楽しむことのできる景観豊かな環境に立地しています。利用者様一人一人が安らぎを持って生活でき、もう一つの我が家として、安全に安心して生活できますよう支援しています。笑顔や喜びのある生活が提供できますよう、それぞれの趣味や身体機能に合わせ、園芸や散歩、脳活性化のアクティビティにも努めています。季節感を感じて頂いたり、外気浴や気分転換のためドライブ・ショッピング・外食などの外出支援を積極的に行っています。又、敷地内ではヤギを飼育し、餌やり以外へ出たり、窓から眺め刺激や癒しになっています。地域との交流も深く、季節の行事を企画し皆さんに来て頂いたり、地域の行事に参加させて頂くなど地域に根差したホームです。ご利用者様の居室やフロアはアロマオイルを使い、香りによって心身を健康に過ごして頂けまよう、癒しの空間づくりをしています。家庭的な雰囲気を感じ頂くために、スタッフの衣服はユニフォームを着用せず、私服にしています。又、外出時に乗車して頂く車も社名を入れていません。常にホームの生活は、家庭生活の延長線上にある事を意識して支援に努めています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL (http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action kouhyou_detail 2017_02_2_kan=true&JigyosvoCd=0174100990-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室), 訪問調査日 (平成29年11月21日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

窓から四季の移ろいを感じる事の出来る居間での談笑や、気候が良くなる季節には、外での食事が楽しめるグループホームよいしよ春探は、利用者、職員が共に笑顔で生活できるよう「今日も一日を楽しく有意義に過ごす」を理念に介護に取り組んでいる。事業所内は清潔感があり、利用者、職員が和気あいあいに過ごしており、家庭的で、「教えない(指導しない)」「しからない」が基本であり、常に希望が具現化出来るよう支援に努めている。家族には担当する職員から毎月手書きの手紙が写真と共に送られており、安心感を与えている。法人は職員の勤務体制を手厚くしたり、研修や資格取得の為に支援を行っている。また、地域の町内会や近隣住民との相互交流が行われている。町内会の盆踊りには招待を受け参加したり、グループホームの夏祭りには地域の方やボランティアのお手伝いがあり、総勢60名以上が参加して楽しんでいる。緊急連絡網には地域住民自ら協力を申し出る等、地域と良好な関係構築がなされているグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 describe various service outcomes and staff actions.

自己評価及び外部評価結果 -1

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「今日も一日を楽しく有意義に過ごす」の理念の下、利用者様には笑顔で接し、明るい雰囲気の中で安心、安全に過ごしていただくようにしています。	「今日も一日を楽しく有意義に過ごす」の理念の元、利用者、職員が共に笑顔で生活する事が出来るよう介護に取り組んでいる。玄関に掲示し、新人研修では理念についての説明が役員により行われ実践に繋がるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の「ことぶきサロン」は、外出可能な方には積極的に参加させていただき、楽しみました。ホームの夏祭り、避難訓練にはボランティアで参加して下さり、意見も伺っています。また、地域の保育園からは夏祭りに招待され、子供たちとも交流しています。	町内会、地域とは普段からの密接な関係構築がなされている。町内会で運営されている、ことぶきサロンには大半の利用者が参加している他、盆踊り大会に招待されている。グループホームの夏祭り、クリスマス等の行事にはお手伝いを兼ねて参加して下さり相互の交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に、行事のボランティアをお願いしたり、避難訓練に参加して頂き、こちらからも地域の行事に参加する中で、利用者様と接する時間を多く持つことで認知症の理解を深めてもらっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の日常の様子や行事等の取り組みの報告をし、地域の方や家族の率直な意見を参考にさせて頂いています。又、事故があった時は会議の中で報告し、ご家族、地域の方からも意見を伺っています。	運営推進会議は年6回、町内会役員、地域住民、利用者家族、地域包括支援センター職員、ボランティアメンバー等の出席があり活動や利用状況、研修報告を行い質問や意見を得ている。行事、避難訓練の意見を頂き今後の参考とし運営に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行事や運営推進会議に参加して頂き、普段取り組んでいることを報告しています。また、包括支援センターの取り組み、行事等の案内も頂いています。包括の方には講師になってもらい「高齢者虐待」の研修をしました。包括支援センターから入居の要請があり受け入れもしました。	市担当者や地域包括支援センターとは日常的に情報を頂き運営に生かしている。また、地域包括支援センターには研修の派遣をお願いしており、今期は実践Q&Aで高齢者虐待についての研修に取り組んでおり、良好な関係構築がなされている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、夜間を除いては開放しています。利用者様が外に出たい素振りの時は、一緒に出るようにし、納得して戻れる体制を作っています。また、ベッド柵についても位置など確認を行い、身体拘束のないケアを行っています。	身体拘束については内部研修や高齢者虐待の研修時に指定基準における禁止事項や不適切な言動について課題を話し合い検証しながら正しく理解し、身体拘束の無いケアについて取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は利用者様の体に異変があった場合は、生活記録に記載し、管理者、看護師、職員全体が情報を共有し、原因を明確にしています。また、研修で「高齢者虐待」の研修を行い、事例を元に虐待について話し合う機会を設けました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業・成年後見制度について過去にホーム内で勉強会をしました。現在、成年後見制度を活用している利用者様が有り、後見の方と連絡を取りながらケアをしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時には、管理者が利用者様とご家族に十分な説明を行い疑問にも丁寧に答え、不安のないよう努めています。また、退去時においても安心して退去できるよう支援しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の際は、ご家族に必ずホームに関しての御意見等を伺い反映しています。御家族が来設された時には、時間を作り利用者様の様子を伝え、御家族からは、意見や要望を伺っています。利用者様からは、会話や表情の中から思いを受け止めています。また、新しいケアプランに対しての意見も伺っています。	利用者、家族の意見や要望は、日常の会話の中や、面会時の会話の中で把握している。利用者には担当する職員がおり、職員から毎月家族に様子を知らせる手紙を写真と共に差し上げており、状況が解ると評価されている。その際返信用紙を同封し意見や要望を把握する機会としており、それらを運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の全体会議で、職員の意見、要望を聞き反映するよう努めています。また、勤務の中でも意見要望を聞いています。新入職員、異動のあった職員には意見を聞く時間を設けています。	ホーム長、管理者は申し送り時や、毎月の全体会議やフロア会議の中で職員の意見や要望を把握している。個人面談は採用時や異動になった時に行われている。福利厚生のため休憩室増築や、マッサージ機導入、資格取得や研修費用も法人で用意し職員を支えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の事情を把握し、働きやすい時間の勤務を可能にしています。休憩室にはマッサージ機が置いてありくつろげる環境が整っています。職員は全員正社員で雇用し、資格手当・昇給やボーナスの支給が有り、有休の取得にも努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内研修や資格取得に積極的です。資格取得に向け勤務環境を整えたり、費用面でも援助が有ります。近隣での研修には、出来るだけ参加するようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	実践者研修等で同業者と交流する機会があり、その内容の報告を受け意識向上に繋がりました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	入居時の面談で、ご本人・御家族より生活歴、現在の生活の様子を聞き取りしています。入居前にスタッフミーティングを行い、生活状況等の確認をし、その人らしく生活できるよう支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族と面談の時間をもち、不安な事、求めている事、困っている事をお聞きし、その言葉を真摯に受け止め、御家族との信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、看護師、ケアマネが対応し、ホームの中でどんな支援が必要なのかを考え、ケアプランを作成し、職員全体で共有し、支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干したり、畳んだり、調理の手伝い、盛り付けなど本人のできる事や、したい事を職員と一緒に会話を楽しみながら行い、良い関係を築いています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の訪問を大切にし、利用料の支払いは出来るだけお持ち頂き、その際に利用者様の様子を伝えていきます。病院受診の際も経過を報告し、一緒に支える関係を築いています。月初めには、写真、担当職員から自筆のお手紙を送付し、ご本人の様子を詳しくお知らせしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の思い出の場所にドライブに出かけるなど、利用者様の思いを大切にしています。友人・御家族の来設時には、ゆっくり居室等で会話をさせていただくなど、外部の方の訪問しやすい環境作り心掛け、馴染みの関係が長く保てるよう支援しています。	利用者がこれまで培ってきた馴染みの関係の美容室への訪問、友人、知人の来訪等関係継続に努めている。嘗て生活していた場所への訪問希望や、銭湯など馴染みの場所への訪問も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り調理や片付け等のお手伝いを一緒にして頂いたり、買い物・ドライブ等の外出を通じて、自然に支え合う関わりができるよう努めています。また歌やレクリエーションを通して楽しみを共有できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても入院や転所された方の訪問をするなど、本人や家族の心のケアを大切に、相談があった時は支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションの中で、どのような思いで生活されているのか、どのような事を希望しているのかを感じ取り、その人らしい生活ができるよう支援しています。	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の意向はフェイスシート、アセスメントや会話の中で把握し、職員間で共有し思いの実現に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートにて生活歴や生活環境についての把握をしています。又、御家族や利用者様の会話からも情報を得るようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人ひとりに声掛けをし、表情やバイタル測定で体調管理を行い、散歩、ドライブ、レクリエーション、お手伝い等を行っています。一日の様子を生活記録に残し、変化があればスタッフ間で情報を共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月会議を行い、スタッフ・ケアマネ・ナースで利用者様のモニタリングを行い、その人らしく生活できるよう介護計画を作成しています。又、御家族に意見要望を伺い介護計画に反映しています。	介護計画は毎月の全体会議の後のフロアー会議でケース検討を行い、ケアマネがモニタリングを行って家族の意見や要望を反映し、基本的には3ヶ月毎に見直され、現状に即して介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌・生活記録・気付きシートに記入し、スタッフ間で情報を共有し、介護の見直しをしたり、介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が同行できない通院介助や、急な病院受診には職員が同行し、御本人や御家族のニーズに出来る限り対応しています。また、本人が希望する買い物や、マンツーマンでの外出支援も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事(盆踊り・ことぶきサロン)に参加しています。又ホームの行事である夏まつり・避難訓練など、町内会の方々に呼びかけをして協力していただき、地域との連携ができています。年6回行われる運営推進会議には町内会の方、地域民生委員、包括の方よりアドバイスをいただきより良い支援が出来るよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医、又は本人御家族の希望したかかりつけ医に診て頂いています。常に御家族と連携を取りながら、適切な医療が受けられるよう支援しています。遠方の家族や車椅子介助の方の通院は、送迎や同行をし、場合によっては看護師も同行し、Drに病状を伝え、健康管理に努めています。	利用者のかかりつけ医への受診は概ね家族が同行で対応しており、往診を受けている利用者もいる。家族には報告を行い情報共有を行っている。看護師の職員が日常の健康管理を行っており、適切な対応が出来るよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調の変化や様子など看護師に伝えその都度指示や助言を受けながら介護しています。怪我、発熱など日中および夜間帯でも緊急の場合は電話連絡し指示を受けています。夜間帯の受診時は看護師も同行しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の状況を見て、治療の妨げや、負担にならないよう交代でお見舞いに行き、少しでも安心して頂けるよう心がけています。入院時・退院時・退院後の生活について情報の共有をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	主治医・御家族・職員と今後について話し合いの場を持ち、御本人・御家族の希望に添えるよう努めています。ホーム内でもスタッフ間で情報共有に努め、その人らしい終末期を迎えられるよう支援しています。 過去にご家族と協力しながら4名の看取りを行っています。	契約時に重度化した場合の対応指針で事業所の方針を説明し理解と同意を得ており、時期が来た時には再度話し合い同意を得て取り組んでいる。今年一名看取りを行っている。「看取り期に望まれる実際のケア」の外部研修や医師による研修が行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホームに消防の方を招いて職員全員でAEDの使い方、心臓マッサージの実技、指導を受け、応急手当や初期対応の訓練を行い急変時にも速やかに対応できるよう備えています。また、「夜間対応マニュアル」を作成し、緊急時に速やかに対応できるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内の避難訓練、消防や地域を含めた避難訓練を行っています。夜間帯の状況を設定し、職員が必ず1回は訓練できるようにしています。緊急連絡網に町内会の方にも入っていただき、協力体制をとっています。	避難訓練は年2回、夜間想定で消防署の指導と地域住民の協力を得て行っている。訓練実施の前に職員は各自でシミュレーションを行い避難の手順確認を行っている。緊急連絡網には近隣住民の協力があり協力体制を構築している。	火災についての訓練には取り組んでいるが、その他の災害対策について更に体制構築を期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として一人ひとりの人格の尊重に心掛けています。常に尊敬の気持ちを持ち、言葉掛け等は職員間で注意し合い利用者様の尊厳を傷つけないようにしています。トイレ・入浴介助は同姓介助をしている方がいます。	利用者の人格や尊厳を損ねないよう、声のトーンに配慮し、トイレ等の誘導もさりげなく、言葉掛けや対応に注意した支援を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との会話の時間を持ち、さりげなく趣味や好きな事を聞いたり、今の思いや希望を伺い、生活に生かせるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の体調やペースに合わせ、外出・散歩、入浴等も希望や意向の把握に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の洋服はできるだけ自分で選んで頂き、職員と一緒に身支度をしています。外出・行事の時はお化粧、髪型を整え、おしゃれを楽しんで頂いています。昔から通っている美容室にお連れしている方もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様からリクエストを聞いたり、一緒に買い物に行き食材を選んで頂いたり、旬の食材(山菜、魚、果物)を使用し、調理、食事、片付けをしています。いつもと違う雰囲気を楽しんでいただくために、外食にも出かけています。	食材の買い物に出掛けたり、準備や後片付けを職員と共にやっている。献立はその日の職員が利用者の意向を聞きながらバランスや季節感を取り入れ調理している。誕生日や外出時には外食し、気分転換や楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	年齢、持病、嚥下状況、体重を考慮し、食事量、形状(キザミ食、お粥)を個々の利用者様に合わせ提供しています。水分摂取量の少ない方には小まめに勧めたり、むせのある方にはトロミを付け提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は毎回声掛けをし、口腔ケアの支援をしています。就寝時は入れ歯洗浄剤を使用し、常に口腔内の清潔に配慮しています。歯ブラシ・コップ・義歯ケースは週に一度洗浄しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記入表を作り、排泄パターンの把握に努めています。表情や体の動きを見て、トイレ誘導を行っています。夜間ポータブルトイレを使用している方もいます。	排泄記録を作成し、タイミングを把握してプライバシーに配慮したさり気ない誘導で排泄支援に取り組んでいる。毎食時には手作りヨーグルトを提供し、スムーズな排泄に繋げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時には、牛乳、飲むヨーグルトを飲んで頂き、10時のお茶の時間には水分をたくさん摂っていただくよう声掛けをしています。昼食時には自家製ヨーグルトを提供し排便に繋がるようにしています。体を動かす機会を持つために、テレビ体操、足上げ体操も行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の体調に合わせて、週2~3回の入浴ができるよう支援しています。入浴拒否のある方は、無理強いせず翌日入ってもらうようにしています。入浴できないときはシャワー浴で対応し、気持ちよく生活できるよう支援しています。時には気分を変えて、温泉へも出かけています。	週に2~3回を基本に入浴支援に努めている。浴室の床には滑り止めマットを敷き詰め安全に配慮している。希望や状況に合わせてシャワー浴や同性介助等要望に沿った支援に努めている。入浴拒否があった場合は無理せず、声掛けを工夫したり、温泉や銭湯に出掛ける等、柔軟に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決めず、個々のペースに合わせて休んで頂いています。日中は運動やレクリエーションを行い生活リズムを整え、できるだけ夜間ゆっくり休めるよう支援しています。季節毎に寝具や室温、衣類を考慮し支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬ファイルを作り用法、用量を把握しています。毎日、服薬確認表で氏名、日付け、朝昼夜、を確認し飲み終えるまで見守りしています。症状については日頃から観察し、看護師に伝えています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、盛り付け、食器拭き、掃除、洗濯など利用者様に合わせたお手伝いをして頂き満足感が持てるよう支援しています。誕生日には、好きなものをお聞きし、食事の献立に取り入れお祝いをしています。歌や音楽体操・パズル・かるた等のレクやアクティビティ、ホーム周辺の散歩やドライブをし、気分転換の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気が良く暖かい日は外出を心掛け、ドライブや散歩に出かけ外気浴をしています。利用者様の希望する買い物、外食・温泉入浴等のバリエーションある外出支援をしています。また、町内会や地域の催し物にもできるだけ多くの方が参加できるよう積極的に支援しています。	日中の職員配置を多くし、利用者の外出希望に対応しやすい体制になっている。食材の買い物に交替で出掛けたり、日光浴や散歩を楽しんでいる。誕生日には希望の外食に出掛けたり、季節に合わせドライブに出掛け楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族様と相談し、ホームでお預かりしています。希望に応じ買い物に出かけ、お金が使えるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望で御家族に電話をしたり、連絡があった時は、取り次ぎをしています。また、数名の方は、携帯電話を所持され、自由に連絡を取り合っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明は、優しい明るさのものを使用しています。職員の声、足音、ドアの開閉など、不快な音が出ないように気を付けています。温度、湿度にも気を配り、風邪の予防にも努めています。玄関・フロアは季節感のある飾り付けや草花を飾り、行事や日常生活の写真を展示する等、利用者様や御家族の方に見て楽しんで頂いています。また、居室・フロアはアロマオイルを使用し、気分が落ち着く心地良い空間づくりをしています。	窓から春採湖が一望できる事業所内は、季節の飾り付けや、利用者の写真が飾られており、温湿度、光彩に注意が払われている。清掃も行き届き、殺菌作用や安らげる作用のあるアロマオイルを使用してリラックス効果や感染症対策の一つとしている。ソファや椅子を配置し、利用者がゆっくり居心地よく過ごせる様工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでは、好きな場所に座りゆっくり過ごせるようソファの配置を工夫しています。新聞やテレビを見たり職員と一緒に歌・レクリエーション等も楽しんで頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人の馴染みの物、本人が使い慣れた物を配置し、御家族様の写真を貼るなど落ち着いて過ごせるようにしています。又、利用者様に合わせて、花やぬいぐるみを置き安心して過ごせる空間作りを工夫しています。	クローゼットが設置されている居室には利用者が使い慣れた家具や鉢植え植物、家族の写真が飾られて、利用者の個性に合わせて居心地よく過ごせる様になっている。乾燥対策として湿ったタオルを干す等工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーになっており、車椅子での移動ができるようになっていきます。玄関、廊下、トイレ、浴室には手すりが設置されています。トイレの場所は、分かりやすいように大きく表示しています。利用者様に合わせた居室の飾り付けや、表札も本人に自室と認識しやすいよう工夫しています。		